



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCAs THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2011~2012)

- ・ **国際協会会長** Finn A., Pedersen (ノルウェイ)
『Audere est Facere - To dare is to do』
「とにかくやろう - 成せば成る」
- ・ **アジア地域会長** Wichiane Boonmapajorn (タイ)
『Audere est Facere - To dare is to do』
「とにかくやろう - 成せば成る」
スローガン 『Mission with Faith』
「信念をもって使命を果たそう」
- ・ **西日本区理事** 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)
『ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献』
「Contribute to Community through Active Services with Love」
副 題 『理想を目指して変革と行動!』
「Change Ourselves and Take Actions Our Lofty Goal」
- ・ **六甲部部长** 森 紘一 (神戸学園都市クラブ) 『伝統を守り、若返りを図ろう!』
副 題 「もっと楽しく、もっと活発に!」
- ・ **西宮クラブ会長** 濱崎 進一 『皆で知恵を出し合い、行動して行こう!』
「Let's create wisdom each other, and let's take act up to all member's Y'sdom!」
- ・ **2011年12月 西日本区強調ポイント** **“EMC-M”**
「親睦のエネルギーを放出し、限らない奉仕をしよう。西日本区2000名に向かって大きく前進!!」
大岩 英人EMC事業主任(京都グローバルクラブ)

2011年12月
764号
65期-06号
since 1948.5.17

・スポンサークラブ
大阪クラブ
・DBC 締結
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

会 長 濱崎 進一
次期 会長 長井 慎吾
直前 会長 馬場 一郎
副 会長 山本 常雄
書 記 浅野 純一
書 記 阪根 新
会 計 岩田 健司
会 計 足立 康幸
監 事 清水 彬久
担当主事 三島 浩司
部交流主査 馬場 一郎
区交流主任 廣瀬 一雄

クリスマス 降誕祭

12月25日

2011年12月第一例会のご案内

日時: 2011年12月17日(土) 16時~21時

場所: レストラン・オーシャンビュー須磨

ドライバー: 山本常雄メン、小野勲紘メン

- 第一部 1. 開会点鐘 濱崎会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 濱崎会長
4. 聖句朗読 柳谷利起神戸YMCA監事
5. クリスマスメッセージ 同上
6. Y'sニュース 濱崎会長
7. YMCAニュース・お知らせ 三島主事
- 第二部 1. 食前感謝・乾杯 山口メン・森部長
2. 会食 一同
3. 誕生日のお祝い・プレゼント交換
4. 閉会点鐘 濱崎会長
- 第三部 潮騒ライブ レインボー・トウリー(チャボさん)
(会費)男性:5000円、女性4000円、コメット1000円
各自1000円以上の交換プレゼントを用意下さい

ファンド・BFの累計	11月	累計
ニコニコファンド	3,000p	11,000p
Brotherhood Fund(BF)	5,700p	16,200p
使用済切手	0g	0g
東日本大震災支援ファンド	3,600p	17,600p

今月の聖句

『今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまれて飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけよう。これがあなたがたへのしるしである。』
ルカによる福音書第2章11-12節

よしひさ
清水彬久メン 選

11月 例会出席状況 在籍会員数 22名

第1例会(11.18金) 第2例会(11.4金)

メン 15名 メン 9名

メネット・コメット 1名 メネット 0名

ゲスト・ビジター 1名 ゲスト・ビジター 0名

合計17名 make-up 3名 合計 9名

出席率 81.8% (累計出席率 90.9%)

HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

12月 1日 馬場めぐみメネット

12月 8日 山口まり子メネット

12月 25日 イエス・キリスト

Y

〒662-0977西宮市神楽町5-23西宮YMCA内 第一例会: 第3金曜日19時~
TEL: 0798-35-5987 FAX: 0798-23-6170 交通: JRさくら夙川下車南
西宮クラブホームページURL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html> (プリテン)
西日本区ホームページURL: <http://www.ys-west.or.jp> (理事通信、事業主任通信、各主資料他)

今月のダイジェスト

A. 12月号ブリテン(定期報告版)	P	B. 12号ブリテン別冊(会員寄稿コーナー)	P
1. 会長メッセージ6 濱崎進一 会長……………1		1. 神戸YMCA 125年を振り返って(その18) 長井慎吾 125周年記念事業実行委員長……………7	
2. 第一例会報告……………1 ドライバー: 足立康幸メン、丸山悦治メン		2. 西宮 YMCA 保育園だより 三島浩司 園長……………8	
3. 交流事業主任だより6 廣瀬交流事業主任……………2		3. 西宮・宝塚リーダー会だより 川南舞リーダー……………8	
4. 各種報告		4. 触主面登場 - 4 馬場貴英メン……………9	
Y's ニュース 濱崎進一 会長……………3		5. 「音を重ねる日々は心を重ねる日々に」47……………9	
YMCA 報告 三島浩司 主事……………3		楽団“あぶあぶあ” & ミュージカルチーム“LOVE” 代表 ひがしのようこさん(濱浩一メン)	
会計からのお願い 会計 岩田メン・足立メン……………4		6. 水の流れのままに48(俳句) 小野勅紘メン……………10	
5. 今後の予定……………4		7. ワイズ関係クラブだより-1(新コーナー)……………10	
6. 編集後記……………5			
7. 西日本区理事通信(12月号) 浅岡徹夫 理事……………6			

クリスマスのシーズンになりました。今年をふりかえり、充実したワイズライフを！

会長メッセージ6



濱崎進一 会長

東日本大震災発生以来、約 8 カ月半ばが経過しました。政府の第3次補正予算も国会を通過して、復旧・復興に向けてスピードアップが望まれます。最近のニュース等では、福島地区生産の新米が基準値以上に汚染され、出荷停止などの処置が報告されて、農業生産者の被害報告が継続されています。農業関係は原発の汚染被害は野菜に始まり、牛乳、お米と東北地区だけでなく北関東地区まで広い範囲で生じています。漁業関係も中古船舶の提供、養殖も他地区からの物資の支援などで少しずつ復興に向けて進んではいませんが、未だ港湾関係の復旧が遅れているため、生活資金を得る段階までには至っていない様子です。

また、安全基準の範囲以下の商品も市場に出荷されていますが、風評で一般消費者には汚染の不安感からなかなか消費されないようです。市民は気持ちの上では「震災地区を支援しなければいけない」と思っていると思いますが、いざ生活の過程では、汚染の影響がないよう、特

に子供を持つ親御さん、若年層の人々は少しでも危険を避け購入したい気持は当然のことだと思います。

日本YMCA同盟より今後の支援の報告も入っていますが、阪神淡路大震災より被害地区が広域で、ボランティアの人数も減少し復興もなかなか進まないようです。

我が西宮クラブも宮古地区支援として、宮古地区の製品販売活動を推進し、10月、11月にバザー、カーニバル等でクラブの皆様の応援を得て製品を販売し、取り纏め役の馬場(一)メンより、約27万円の売り上げの報告を受けております。今後も製品販売継続の場としての大きなイベントがありません。2011年度後半も支援を継続する同様の計画を進めるために、クラブの皆様のお知恵をお借りしたいと思っています。第二例会(兼役員会)等での皆様のアイデアを期待しております。

例会報告(11月)

ドライバー 足立康幸メン、丸山悦治メン



日時: 2011年11月18日(金)19時~21時

会場: 西宮 YMCA 保育園3Fホール

出席者: 浅野、足立、岩田、小野、清水、堤、馬場(貴)、瀨、瀨崎、廣瀬、万本、三島、山口(政)、山口(吉)、山本の各メン15名。山口(洋)メネット1名。ゲストは池本先生1名。出席者合計17名。欠席7名(内長井、馬場(一)、藤原各メンは第二例会などでメイクアップ)

今月の例会のテーマは高齢化社会に向かっている我が国において、健康の大切さを知って頂く上で毎日の食事がいかに重要かという事から「食の安全・安心」についてお話を頂きました。

ゲストスピーカーには兵庫大学情報経済学部教授の池本廣希先生にお願いしました。先生は食料環境について研究されて、ひょうご食品認証制度推進委員会の委員長も勤められておられます。**(要旨)**

日本の平均寿命は男性79.29歳 女性86.05歳となっていますが、健康寿命(病気をせず介護を受けずに健康に生活出来る寿命)は男性72.3歳 女性77.7歳となっています。平均寿命と健康寿命の差は7年~8年あり、その間は病気や介護に悩まされている期間です。この期間をいかに短くし健康に過ごすかが大切なのです。大切なのは特に毎日の食事であり、安全で安心な食品で楽しい食事をする事です。提唱しているPPK(ピンピンコロリ)がまさにそれに該当します。

皆様方も健康上、食の安全についてもう一度考えて頂きたいと思います。

その他 輸入食品の農薬の問題、日本の食料自給率の問題また、水の問題についてもご自身が提唱されている「ため池」保全の立場から合わせてお話頂きました。

皆様方も「病は口から」「病は気から」という事をもう一度熟慮下さい。

誕生日の祝い Ysニュース YMCAニュースと続き11月例会を閉会しました。(足立 康幸)

交流事業主任だより6

2011-12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン



11月号での主任だよりも10月16日(日)のびわこ部会訪問でひと段落。しかしその日は西宮ではカーニバル。ワイズはカレー販売とのみの市。宮古からの物品も同時に販売。そちらはメネットにお願いし前日は岡山、そして草津へ。ところが10月21日(金)にはジャガイモの到着。荷降し、22~3日と配送に専念し神戸YMCAの三宮本館バザーもお休み。いつもは少年部のOB・OGでのチキンナゲットの



販売も欠席。そちらは藤原ウイメンにおまかせ。そして11月、3日には毎年恒例のチャリティランがありました。私はここ数年仕事のため不参加。

カレーの製造販売(写真は瀨崎メネットと格闘中の廣瀬メネット)もありましたが、そちらは手馴れているメネットにお任せ。宮地特別メネットと乗り合いでトンネル越え、阪神高速北神戸線で。しあわせの村には8時40分ごろ到着したとのことで遅れなくて一安心。当日は好天気恵まれカレーも300食が完売。ランはここ数年宣言タイムレースでなく抽選で順位が決まるということで少々感激が薄れます。山本メン宅で反省会があるとの事でそちらには「らんらん」と参加。4日はクラブの第二例会・役員会。浅野書記の記録があるので安心。10日は神戸Yで社会福祉法人の評議員会があり馬場一郎メンとご一緒。案件のひとつはJR西宮近くにできる新設の保育園が西宮つとがわYMCA保育園に決定。18日はクラブ例会。19日~20日と第二回西日本区役員会。(写真右は朝の礼拝でヴォーリスの話を



される区の三原会計、鈴木監事、田上委員長)そして(写真左は各事業主任の面メン) 21日には神戸Yの常議員会と近場での会合の多い月でした。



各事業委員会報告

Y's ニュース

濱崎進一 会長

1. 第24回チャリティワインを楽しむ会

日時:2011年12月9日(金)18:30~20:30

(YMCA ニュースに詳報)

2. 神戸YMCA国際協力募金

日時:2011年12月11日(日)14時~16時

神戸大丸北西角集合

3. 宝塚市民クリスマス

日時:2011年12月16日(金)19時~21時

ベガホール(清荒神駅)宝塚クラブ主催

4. 神戸YMCA125周年記念音楽イベント

日時:2012年1月7日(土)開演14時~15時30分

会場:うはらホール(JR住吉駅下車)

申込み先:神戸YMCA125周年実行委員会



西宮YMCA保育園 三島浩司園長

YMCAでは、スキーキャンプなど冬のプログラムに向けて様々な準備が始まっています。今から20年程前だったと思いますが、ある中学生か高校生の男の子が信州でのスキーキャンプに参加していました。その男の子は、小さい時にYMCAの雪遊びキャンプに参加した際、事故にあって大きな怪我をしたということでした。その男の子が大きくなって、今度はスキーキャンプに帰ってきたのです。スキー場に着き、ゲレンデに立ってスキーを始めると、小さいときの事故のことを思い出して体はガチガチに固まって、とてもスキーができるような状態ではありませんでした。それでも、折角スキーに来たのだからと、何度か一緒に滑っているうちに徐々に力が抜けていき、スキーを楽しめるようになりました。大きな怪我と恐怖心乗り越えてゲレンデでチャレンジしていた彼の姿が今もしっかりと臉に焼きついています。その彼とは、その後再会を果たせていませんが、今は40歳近くになってバリバリ働くお父さんになっているのではないかと思います。スキーキャンプのシーズンになると大きな壁を乗り越えてスキーに挑戦していた彼のことを思

い出し、今なお大きな力をいただいています。

この冬のスキーキャンプでも、子ども達やリーダー達がこれからの人生で様々な壁を乗り越えて行く、大きな力となる素敵な出会いや体験ができることを祈りたいと思います。

今後の予定

1) 西宮・宝塚YMCA子どもクリスマス

西宮・宝塚YMCAのボランティアリーダー達の手による、子ども達のためのクリスマス会です。リーダーによる劇や歌、ゲームなど。ぜひお越しください。

日時:12月3日(土)10:30~12:00

場所:西宮市大学交流センター

(阪急西宮北口駅 ACTA 西宮東館6階)

2) 第24回チャリティワインを味わおうの会

日程:12月9日(金)18:30~20:30

場所:神戸YMCA4階 サイコー亭

テーマ:「ひと足早いクリスマス料理とワインの話」

会費:6,000円

申込:神戸YMCA本部事務局まで

(TEL:078-241-7201)

3) 宝塚チャリティー市民クリスマス「キャロルを歌う夕べ」

宝塚ワイズメンズクラブが中心となって開催される宝塚の市民クリスマスが下記の様に行われます。

日時:12月16日(金)19:00開演

場所:宝塚ベガ・ホール

(阪急清荒神駅すぐ)

4) 第53回神戸市民クリスマス

今年の市民クリスマスも「キャロリングin Kobe」として、北野と元町でキャロリングが行われます。東日本大震災があった今年は「心をむすぶクリスマス」~神戸から被災地へ、被災地から神戸へ~をテーマに祈りと祝福の時が持たれます。

日時:12月16日(金)19:30~20:30

(キャロリングは17:00~)

場所:神戸教会 礼拝堂

5) 神戸YMCA役員合同クリスマス

青年会及び3法人の活動や事業を役員・評議員として支えてくださっている方々を対象とした合同クリスマス会を開催します。役員・評議員の方々は是非、

ご出席ください。当日17:00より、祈祷会を持ち、次年度年間聖句を決定します。合せてご出席下さい。

日時:12月19日(月) 18:30~21:00

場所:神戸YMCAチャペル(礼拝)

グリーンヒルホテル神戸(祝会)

参加費:3,000円

礼拝奨励:菅根信彦牧師

(日本キリスト教団神戸教会)

6) 新年職員礼拝

新しい年を迎え、職員は礼拝をもって一年をスタートします。ご一緒だされば幸いです。

日時:1月4日(火) 9:00~10:00

場所:神戸YMCAチャペル

7) 125周年記念音楽イベント

「音楽と祈り ~あなたとともに~」

神戸YMCA 125周年記念イベントのエンディングとして企画されたプログラムです。是非ご参加ください。

日時:1月7日(土) 14:00~15:30

場所:東灘区区民センター うはらホール

会計よりのお願い

会計 岩田 健司

足立 康幸

西宮クラブ今期の前期(7月~12月)分の会費を集めております。皆様速やかに会計の方までお寄せ下さい。例会時に現金でお持ちくださっても結構ですし、下記の口座に振り込んでいただいても結構です。なお、振込み手数料はご負担下さい。よろしくお願いいたします。

(口座にご注意下さい。)

【会費等振込み口座】 <通常会計>

振込み先口座:三井住友銀行夙川支店

普通預金、口座番号:3230220

口座名:西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

【じゃがいもファンド等の口座】 <特別会計>

振込み先口座:三井住友銀行夙川支店

普通預金、口座番号:3289977

口座名:西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

【今後の予定】

【ドライバーの予定】 (敬称略)

1月(濱崎、三島)、2月(廣瀬、藤原)、3月(山口政、万本)、4月(阪根、濱)、5月(岩田、馬場(一))

60周年記念誌編集作業:第2・第4金曜中心

【六甲部他クラブの第一例会予定(計149名)】

下段は12月各クラブ・クリスマス例会の予定

他のクラブのクリスマス例会にも参加しましょう。

・神戸クラブ(第2火曜日、神戸YMCA)21名

13日(火)18時30分~、神戸レガッタ・アスレチック

・神戸西クラブ(第3火曜日、同上)12名

10日(土)12時~15時、神戸YMCAサイコー亭

・神戸ポートクラブ(第2木曜日、グリーンH神戸)20名

8日(木)18時30分~21時30分、特別養護老人ホーム「オリンピア」+グリーンホテル神戸

・宝塚クラブ(第2水曜日、宝塚ホテル)21名

14日(水)18時~、宝塚ホテル

・さんだクラブ(第2水曜日、三田YMCA)18名

10日(土)18時~、三輪教会&ガスト

・神戸学園都市クラブ(第3木曜日、西神戸YMCA)18名

10日(土)18時~、神戸学園都市YMCA

・芦屋クラブ(第3水曜日、ホテル竹園芦屋)17名

23日(金祝)18時~、ホテル竹園芦屋

・西宮クラブ(第3金曜日、西宮YMCA)22名

17日(土)16時~、レストラン・オーシャンビュー須磨

【12月の予定】

2日(金)第二例会(兼役員会)、9日(金)チャリテワインの集い、18時30分~、神戸YMCAサイコー亭、11日

(日)神戸YMCA 国際協力街頭募金14時から16時(神戸大丸北西角)、16日(金)17時~21時45分神戸市民

クリスマス(キャロリング in Kobe)、日本キリスト教団神戸教会発(事務局:078-241-7201)、国際協力街頭募金、

16日(金)午後7時~、宝塚市民クリスマス宝塚ベガホール(阪急清荒神駅)、**17日(土)第一例会(クリスマス**

祝会)(ドライバー:山本、小野) **12月27日BF中間**

締切(BF切手は1月締切、献金関係は2月15日締切)

1月の予定

6日(金)第二例会(兼役員会)、7日(土)神戸YMCA
125周年記念音楽イベント、14時開演、うはらホール、
8日(日)～9日(祝)次期役員研修会、Hクライトン新大
阪、10日(火)後期半年報原稿締切、20日(金)第一例
会(ドライバー:濱崎進一会長、三島浩司メン)、31日
(火)BF切手送付締切、31日(火)IPE(次期国際会
長)・ICM(国際議員)投票締切

2月の予定

1日(水)国際半年報(ワイズメンズワールド)発行、3日
(金)第二例会(兼役員会)、15日(水)後期区費納入締
切、15日(水)各種献金締切(ASF, BF, CS, TOF, F
F, EF, JWF他)、17日(金)第一例会、ドライバー:廣
瀬一雄メン、藤原百合子ウイメン、半年区報発行

東日本大震災被災地を支援しましょう



2011年12月11日(日) 14時～16時
国際協力募金にご協力下さい。神戸大丸北西角集合

編集後記

毎年早めにはもう11月の初旬位から街にはクリスマスソングが流れて、その気にさせてくれています。が、いよいよ12月に入ってもちっとも「冬」であるとか、「年末」であるとか、ましてや「クリスマス」といった実感が湧いてこないのはここ2～30年来の暖冬のせいでしょうか。厳寒にツララや雪掻きといった光景は遥か古に飛んでいってしまってます。それでもいやがおうでも月日だけは早く過ぎていくのは年を取ったせいではないかと焦燥に駆られています。

近江八幡クラブの奥村先生が召天されたとの訃報に接し、大変驚いています。思い返すと3クラブが合同で60周年記念例会(いわゆる180周年記念例会)を計画していて、奥村先生にはメインのイベントを計画いただいております。先生には本当に申し訳ないことをしたと思っております。その後も近江八幡クラブでの記念誌の発行に尽力されたことは記憶に新しいことです。先日会社のOB会の旅行が「ヴォーリスの建築を訪ねて」という企画で、先生にお会い出来るものと楽しみにしていましたら、ヴォーリス記念館の館長が変わっていて心配しておりました。矢先のことで、本当に残念なことです。先生の数々の功績を思い、これまでの活動に感謝いたします。どうかゆっくりおやすみ下さい。

今月のプリテンも、先月同様、写真やワードアートが飛んでしまい、再度最初からセッティングせざるを得ませんでした。せっかくメモリーのスペースを確保したつもりであるのに、重いデータは着かないで拒絶されるとの苦情もあり困惑しています。システムの転換時期のトラブルでもありますが、何とか再度修復して皆様にご迷惑にならないよう試行することになりますので、今しばらくお待ち下さい。

(chocobay)

理事通信(12月号)



11 - 12年度西日本区理事 浅岡徹夫

12月は今年度の折り返し点、

前半を振り返り後半に向かう

早いもので今年度が開始して間もなく半年が過ぎて後半期に突入する。前半期を振り返ってみると京都での第14回西日本区大会での理事引継ぎに始まり、各種事業委員会、主査会議が開催され、7月からは各クラブのキックオフ例会や各種の行事活動が開始した。8月にはアジア大会、8月末から10月までには全ての部会が成功裡に終了した。西日本区の役員会も7月の第1回に続いて11月に第2回役員会が開催され、多くの重要な案件が活発に審議された。

これまで慌しく前半期を駆け抜けてきたが、クラブのプリテンを見せていただいても様々な活動が活発に展開されており、ワイズダムの素晴らしい仲間と共に今ここに居られることの幸せを感じています。大金持ちでも巨大な組織でもありませんが、心の優しさや、献身的な行動力、包み込むような友情などなど、ワイズは本当に素晴らしい仲間の集まりと思います。3月11日の東日本大震災以来、YMCAの献身的な奉仕活動とそれに応えて迅速かつ積極的に支援を行ってきたワイズの姿に、改めて自信と誇りを痛感してきたこの1年でした。しかし私たちの活動はまだまだこれからが大切です。東日本大震災復興支援の献金も、西日本区としてまとまって最も必要とされる所に使ってもらいたいと思っていますが、まだ目

標額の半分も達していないのが現状です。これまで何度も献金された事と思いますが、ぜひ改めて復興支援の献金を西日本区宛にお送り頂きたいと思います。継続的な復興支援にご協力をお願いします。また世界で困っている人達への献金、例えばTOFやロールバックマラリア、国際貢献の献金、ASF、BF、EF、地域奉仕のCS献金やユースの献金、ワイズの将来の為にJWF献金等お願いしています。今やワイズの活動は国連からも認知される国際奉仕クラブであり、クラブのファンド事業も活用し積極的に国際貢献、地域奉仕、青少年育成に努めていたきたいと願っています。

1月に入れば各クラブで半年報を作成頂き、前半期の人員の動きを確認すると共に、後半に向けて会員の維持増強に努めて頂きたい。12月や1月にはクリスマス例会や新年例会が開催されますが、このような機会に新しい仲間がワイズの例会に参加いただくチャンスであり、ワイズ仲間同士の交流や理解を深める絶好の機会にしていただければ嬉しいです。また1月早々には次期役員研修会が開催されるが、各クラブにおいても今年度の活動の追い込みや仕上げに努めて頂くと同時に、新しい役員体制に向けて計画や準備を考える時期でもあります。次期会長・主査の研修会は3月に行われますが、ワイズにおける新しい役割を積極的に担い、各々ベストを尽くすことが、ワイズダムの発展に寄与すると同時に、自分自身の成長に結びつき、掛け替えのない友情を育むことにも繋がると思います。

次第に寒さが厳しくなっており、被災地の皆様がお元気でこの冬を乗り切られることを祈られずにおられません。皆様もお身体には十分ご留意いただきご活躍ください。



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB — CHARTERED MAY 17TH, 1948

ブリテン別冊(会員寄稿コーナー)

125年を振り返って



(その18)

神戸YMCA 125周年記念事業実行委員長
長井 慎吾メン



125周年に際し活動の原点を振り返るため、神戸YMCA 125年の先達の偉業をレビューしています。

今回は、地域に生きるランチワークです。1970年代に入り、広域事業委員会が主体となり、各地

にランチを設立していきました。1972年には、兵庫県が設置主体となり、県住宅供給公社が会館を建て、運営を神戸YMCAが委託するシステムで明舞ファミリースポーツセンターが開設しました。日本のYMCAで唯一の県、公社、YMCAの三者で運営する仕組みでした。そして、1973年には、千歳幼稚園の高倉台への移転を機に高倉台ランチワークを幼児体育、体育活動を中心に展開しました。そして、広域事業委員会は1974年に西宮YMCA確立への具体的方策樹立を決議し、ランチ再建の一步を踏み出していました。

そこに全く神の導きとしかいいようのない恵みが与えられました。1975年に、日本基督教団夙川東教会の橋口徳四郎牧師とワイズメンの白水篤が神戸YMCAを訪問し、今井えん氏所有の「お庭の幼稚園」の売却申し出を伝えました。そして、学校法人神戸YMCA学園が買収する契約が成立し、1976年4月17日に神楽町の幼稚園建物を流用した西宮YMCA会館がオープンしました。しかし、ここに至るまでには、実は何年もの間、私たちの川瀬先輩を含む西宮ワイズメンズクラブメンバー諸先輩が、西宮の地にYMCA運動の火を繋いできたこと

阪急沿線を中心にプログラム拡大の事前研究調査を続け新会館取得を理事会に上申しました。そして、現在の地に新会館の建設が決定されました。建設に当たり募金目標を二千万円と設定し、西宮の会員のみでなく、神戸YMCA全体の各部・各ランチからも募金目標達成のため知恵をしばりあうべく、募金委員会が設けられ、結果として1325万円の善意が寄せられました。私自身は当時大学生リーダーをしており、募金活動にも参加し、新会館建設のため夙川カトリック教会の北側の空き地にプレハブの仮会館を建て新館の完成を待っていた記憶が蘇ります。

そして、ついに総床面積830㎡の新会館が竣工し、1981年4月15日に香炉園教会古河治牧師を司祭に献堂式を迎えました。この建物は、東側がのちに保育園に改築され現在に至ります。さて、このようにランチワークを拡大した広域事業委員会は、地域にYMCAをつくることは、建物の建設を意味するのではなく、組織やプログラムが問題であると認識していました。事業活動を通して相手の主体性をひきだし、それを充実せしめるよう文化活動をたえず並行して進めるところに「つくる」という本論があり、YMCA運動者の苦勞があると考えておりました。これからの未来に通じる教えであると思いません。



保育園だより

三島 浩司メン(保育園園長)

(西宮 YMCA 保育園だより11月号より)



11月の主題：ありがとう

今からおよそ400年前の1620年の秋、イギリスの清教徒と呼ばれる102名のクリスチャンがメイフラワー号に乗って北アメリカに渡りました。異郷の地で食べるものも着るものもほとんどない中、多くの人々が飢えと寒さで命を失いました。春になると仲良くなったインディアンからトウモロコシや麦の種をもらい、農耕を教えてもらい作物を育てました。初めての収穫の秋。予想以上の収穫を得、人々は、小さな種子の芽を育て、太陽を輝かし、雨を降らせ、成長させて豊かな実りをお与え下さった神に収穫感謝の祈りを捧げました。何も無い異郷の地で飢えや寒さに苦しんでいた人々にとってこの最初の収穫の喜び、そして、この収穫をもたらして下さったインディアンももちろん、神様への感謝の気持ちは今の私たちには計り知れないほど大きかったのではないのでしょうか。

私たちは、つらいこと、悲しいこと、それが大きければ大きい程、自分自身の力だけでは乗り越えることが困難となり、何も出来なくなってしまうことがあります。そのような時に支えてくれる仲間や神様の存在を感じ、感謝の気持ちが湧き上がってくるように思います。反対側から考えると、すべてに感謝する心を持つことができると、どのような苦難も乗り越えていけるのではないのでしょうか。私たちが生きる大きな力。感謝する心を大切にしたいと思えます。

1995年1月、私達の住む街を大きな地震が襲いました。一瞬にして多くの家や建物、道路や鉄道が壊れ、同時に、多くに人々の命が奪われました。私たち人間の計り知れない力で実に多くのものが失われました。家族や家、仕事などを奪われた人々の悲しみや苦しみは決して消えることは無いと思えます。けれども、同時に、多くの人々がこの悲しみや苦しみに打ちひしがれていた人々のために様々なボランティア活動を行いました。そして後に「ボランティア元年」と呼ばれる程、この後、世界の各地で様々な災害が起こると、お互いに助け合う働きがそれまで以上に大きくなって行き、この「支えあう心」は、今回の東日本大震災でも様々な支援活動につながっています。

つい先日、YMCAの元学生ボランティアと久しぶりに再会したのですが、彼は、再会したその日に足首を骨折し松葉杖をつけていました。生まれて始

めて骨折したという彼が、「先日程を骨折してわめていた母親に、『それくらいで大きな声をだすなよ。』といていたことを反省している。今日は、家に帰って母親に謝りたい。本当にけが人や病人の気持ちがよく分かった。」といていました。彼は、骨折という災いと共に思いやる心を神様からいただいたのではないかと思います。大きな悲しみや苦しみに打ちひしがれたときにこそ、神様の大きな愛の計画の中にあるということを感じて歩んで行きたいと思えます。

11月聖句：万事が益となるように共に働くということをおぼわすは知っています。

(ローマの信徒への手紙8：28)

西宮・宝塚リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 川南 舞さん

ワイズメンズクラブのみなさま、いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援いただきありがとうございます。11月13日のトムソーヤ例会は秋らしい快い天候の中、蓬萊峡へ行き、自然に囲まれ野外料理を行いました。みんなで石を拾いかまどを作り、木を集め火おこしをし、食材を切るといった、一からの挑戦でした。なかなか上手く行かず苦戦もありましたが、どのグループもカレー・ナン・アルミ缶でご飯を作ることができました！野菜が硬いよ。なんていいながらも、自然の中みんなで苦労して作ったカレーは格別においしく感じました。今年度の折り返し地点を迎え、メンバー同士で声を掛け合い、協力しあう姿が増していき、関わりが深くなっているのを感じます。例会毎に大きく成長していくメンバー達に、わたし自身も学ぶことが多くあります。これからも寄り添いあい、共により成長出来るよう様々な経験を重ねていきたいと思えます。

他にもチャリランにカーニバルなどが行われました。どの行事も楽しく盛り上がり、会場は笑顔で溢れていました。無事にこれらを行うことが出来たのも、ワイズメンズクラブのみなさまをはじめ、地域の方々など様々な人々のご支援・ご協力があったこそだと改めて感謝を感じる場でもありました。ありがとうございました。これからも子ども達のために、リーダー会一同がんばっていきたいと思えます。今後とも、宜しくお願いします。



触主面 登場 4



馬場 貴英メン

私が入会式を開いていただいたのが、2009年の7月の例会でした。あつというまに2年たってしまったというのが、率直な感想です。私とYMCAとの関係は、奉仕者としては余島キャンプから始まります。

リーダーの頃、ワイズメンズクラブの存在はほとんど知りませんでした。余島50周年をきっかけに、それまでなかった余島キャンプリーダー会のOBOG会組織を発足させるという活動の中で、西宮ワイズの余島OBの方と出合ったのが西宮ワイズとの関わりでのスタートでした。振り返ると、入会の前年から近江岸建助さんが闘病生活に入られていたことも、自分の中では大きかったと思います。当時、西宮保育園の園長をされていた建助さんは、近所に住んでいる私に保育園の運動会の設営の手伝いなどを頼む電話をかけてくる一方で、プリテンや保育園のお便りなどを定期的に送ってきて下さっていました。今思えば、建助さんなりの勧誘だったのかも知れませんが、ワイズメンズクラブとしてYMCAと余島との関係を築いていこうと思ったのは、その頃です。

余島キャンプは奉仕者としての時間が、いかに豊かな時間を与えてくれるかということを知ってくれた、かけがえのない出会いの場でした。周りを見回してみると、余島やYMCAに対して、同じような思いを持っているけれど、日々に追われてワイズメンズクラブに入ろうという所まで余裕がない、仲間がたくさんいます。そうゆう仲間に対して、だんだんとYMCAやワイズメンズクラブへの入り口になればいいなと思っています。そうゆう当の私がなかなか時間が不自由なのですが、どうか今後とも暖かく見守ってやって下さい。よろしく申し上げます。

【プリテン担当よりのお願い】

次月以降の執筆予定は以下の通りです。お早目に原稿を送って下さい。(顔写真があれば添付下さい)

- (5) 1月号:阪根 新メン(12月20日まで)
- (6) 2月号:石井 恭子ウイメン(1月20日まで)
- (7) 3月号:万本 敬一メン(2月20日まで)
- (8) 4月号:山口 吉郎メン(3月20日まで)
- (9) 5月号:山口 政紀メン(4月20日まで)

音楽を重なる日々は重なる日々に47



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム
LOVE 代表 ひがしの ようこさん
濱 浩一メン

楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム LOVE は1982年に結成されて今年で、30周年を迎えます。私たちの歩みを皆様で感じ取って下さい。「音楽を通して、未知の人々と出会い、心かよわせ、喜びをわかちあいたい」 楽団あぶあぶあではこの度30周年記念公演を、2011年11月6日(日)うはらホールで開催しましたところ、たくさんの皆様にご来場いただきありがとうございました。

楽団あぶあぶあ&LOVEをご支援下さい。

あぶあぶあ&LOVE基金へのご支援のお願い

あぶあぶあ&LOVEの活動資金をご支援下さい。活動拡大のため、ご支援いただく金額は問いません。

郵便振替:神戸 00940-6-71757

口座名:あぶあぶあ&LOVE

水の流れるままに48



山野 直行(小野勅紘メン)

(俳句)

・どんぐりが ^{そぞ}漫ろ二人の 肩つとふ

(森の小径をカップルが歩いていた。二人の間隔は少し空いていて何となくごちない。突然空から、二人の肩と肩を伝って木の上のど

んぐりが落ちてきた。あれーっと二人は木の上を見上げるが誰もいない。そこで二人は顔を見合わせてニコッと笑う。後は肩を寄せ合って寄り添って、二人の間隔はとて短くなった。リスがキュービッドだったのかなあってね。)

・西の湖に 寄せる波さへ 枯れ^{よし}葎野

(10月21日会社のOBOG会の旅行があり、「ヴォーリズの建築を訪ねて」という企画。ヴォーリズ記念館には、以前60周年記念例会時に一度訪問していたが、今回訪ねると近江八幡クラブの奥村館長が変わっていた。11月末奥村メンの召天の報に接し、またこの地を訪れたが大変懐かしく思った。OBOG会の旅行では、その後、前も行った西の湖の「水郷巡り」を楽しんだ。前は夏であったが、湖岸の葎(よし)が程よく枯れていて風情を増していた。)

・松茸と 栗飯比べ 取り敢へず

(秋の味覚といえば、何と言っても松茸。その次は栗飯でしょうか。どちらを選ぶって? いえいえ、取り敢えずどっちもいただきますよ。)

ワイス関係クラブだより - 1

IBCやDBCや六甲部あるいは、他の関係クラブの活動を知り交流していくことは、我がクラブだけが井の中の蛙に孤立しないで、協働していくためには大切なことです。そこで、各クラブのプリテンから主な活動を紹介していくことにしたいと思います。具体的な活動内容は個別にHPなどでご確認下さい。

DBC関係

近江八幡クラブ

今期はHPにアップされていません。持田プリテン担当からメール送信頂き掲載予定。

広島クラブ

広島クラブは今期からHPがアップされましたが、プリテンがアップされていません。河野広報担当からメール送信頂き掲載予定。

六甲部関係

神戸クラブ

HPのプリテンは2008年8月からストップ。井出広報担当からメール送信頂き掲載予定。

神戸西クラブ

同様にHPにアップされていませんので、上杉広報担当からメール送信頂き掲載予定。

神戸ポートクラブ

廣瀬献児メンの入会式。神戸YMCA国際ボランティアをされておられるとのこと。

日本キリスト教海外医療協会の大江浩総主事のスピーチ。「みんなに生きる～分かち合うことから」

宝塚クラブ

HPのプリテンは2005年から止まっているため、若林プリテン担当にメールで送信いただき掲載予定。

さんだクラブ

10月16日さんだリサイクルフェア、11月23日もりもりおもちゃフェスタに出店。

神戸学園都市クラブ

2010年11月でHPにはプリテンアップが止まっているので上記同様。

芦屋クラブ

2011年8月でHPにはプリテンアップが止まっているので上記同様。

他の関係クラブ

照会中。

上記のように、六甲部各クラブでは新しいサーバーのもとで、スムーズにHPにアップされていないようです。今後の広報事業委員会でその点について、対策を協議すると共に協力出来るものは支援していきたい。

(FINE)